

化粧品・健康食品関連企業による「沖縄力発見ツアー2014」を実施

内閣府は、12月4日（木）～12月5日（金）、県外の化粧品・健康食品関連企業の代表者等の方々に沖縄のポテンシャル（沖縄力）やビジネス環境等を見ていただく、「沖縄力発見ツアーアー2014」を実施しました。

今回のツアーアーでは、化粧品や健康食品を取り扱っている企業や沖縄科学技術大学院大学、那覇空港貨物ターミナルビル等の視察を行うとともに、実際に沖縄に進出している県外の製造関連企業等との意見交換等を行いました。

【ワーキング・ディナー】

沖縄力発見ツアーアーの初日（4日）は、県外から参加された22社の代表者等の方々と、内閣府幹部、沖縄県幹部、県内経済界関係者等の方々との間でワーキング・ディナーを実施しました。

同ディナーにおいては、河合内閣府沖縄総合事務局長から「アジアのゲートウェイとして発展する沖縄」について概況説明をした後、参加者間の意見交換が活発に行われました。

【視察】

翌日（5日）は、沖縄特産販売株式会社（豊見城市）、農業生産法人株式会社仲善（南城市）、沖縄健康バイオテクノロジー研究開発センター（同施設内に所在する企業（株式会社琉球免疫研究所、株式会社サウスプロダクト）、沖縄科学技術大学院大学、那覇空港貨物ターミナルビル（ANA）をそれぞれ視察しました。

沖縄科学技術大学院大学においては、同大学の概要説明のほか、研究施設等を見学していただくキャンパスツアーアーを行いました。

【県内企業との意見交換】

沖縄健康バイオテクノロジー研究開発センターにおいて、県内の化粧品・健康食品関連企業との意見交換を行いました。

また、那覇空港貨物ターミナルビル（ANA）においては、沖縄貨物ハブに関する概要説明のほか、貨物上屋内の視察を行うなど、沖縄貨物ハブの優位性を実感していただきました。

（A N A）においては、沖縄貨物ハブに公的な支援もあることから、沖縄に何らかの形で進出したい、「進出の際に何が重要。また、交通費の補助があれば企業もより進出しやすくなるのではないか」「物流ハブ支援事業を活用したいが県産品使用比率が厳しく決められているので、それの緩和の検討をしていただきたい」等の意見がありました。

内閣府では、今回の沖縄力発見ツアーアーで頂いた様々な方々のアドバイス、お声を今後の取組にいかしていきたいと考えています。



県内関連企業との意見交換

粗画像



沖縄科学技術大学院大学での説明風景

粗画像

ワーキング・ディナーにおける意見交換

沖縄科学技術大学院大学においては、同大学の概要説明のほか、研究施設等を見学していただくキャンパスツアーアーを行いました。

沖縄科学技術大学院大学においては、同大学の概要説明のほか、研究施設等を見学していただくキャンパスツアーアーを行いました。